

# 記念植樹:令和3年3月12日 (広島森林管理署[体験植樹]参加)



廿日市市宮島町の宮島中の3年生が11日、島内の弥山(535.5m)山頂付近で

卒業記念の植樹をした。シカなどの食害が広がる原始林の植生を回復し、土砂崩

## 宮島中生、弥山の山頂付近で

## 原始林の回復へ卒業植樹



弥山の山頂付近で植樹する宮島中の生徒たち

# 広島都市圏

れの防止につなげる。  
19日に卒業する9人のうち8人が参加。宮島ロープウェイ終点の獅子岩駅の近くで、食害などで地面が露出した山の斜面にスコップで穴を掘り、島に自生するアラカシやアカガシなどの苗を植えた。一部は、同中の生徒が2015年から続ける、島内で拾ったドングリから育てた苗木だった。シカ対策の保護柵も設置した。

4月から岡山県の高校に進学し、寮生活になる岩村伊都岐さん(15)は「宮島の自然を守るために参加できたのはうれしい。いい記念になった」と話していた。

島の原始林は、文化財保護法で伐採などが厳しく規制されている。広島森林管理署(広島市中区)が林の植生を回復するための事業として文化庁に植樹による「現状変更」を申請し、環境保全団体「宮島

弥山を守る会」のメンバーたちも参加した。大半の苗は、島内にある広島大学院付属宮島自然植物研究所が育てた。

(永井友浩)

